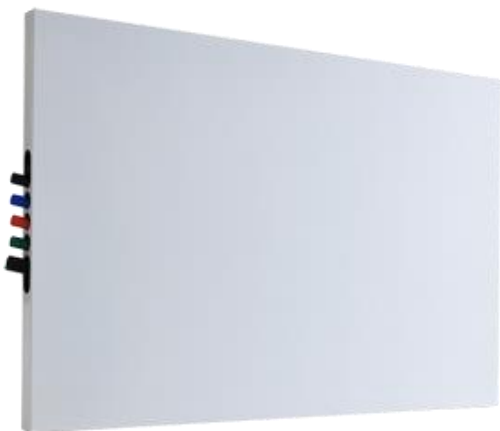


平成 29 年 9 月 20 日

さくら精機株式会社

マイクロソフト「Xbox 360」を手掛けた著名プロダクトデザイナー村田智明が
今度は八尾の中小企業と組んでホワイトボードをインテリアに変えた！
～フレームを切り取った新商品、10月2日、WEB専用サイトにて発売開始～

事務用機器・教育教材を手掛ける、さくら精機株式会社（大阪府八尾市／社長 村本一平）はこの度、これまでに全くないユニークなホワイトボードを、10月2日に発売することになりました。その特長は、画一的なデザインの元凶であったアルミフレームを取り外した点です。これまでのホワイトボードは、構造上アルミなどのフレームが必須でしたが、当社は50年の長きにわたって、このホワイトボードの製造と鉄板の加工に携わってきた経験とノウハウを生かし、ボードの耐久性・安全性・書いた文字等の消去性を損なうことなく、このフレームを取り外すことに成功しました。さらに、あのマイクロソフト「Xbox 360」などを手掛けた著名プロダクトデザイナー・村田智明氏にトータルデザインをお願いし、インテリアとしても耐えうる新たなホワイトボードを誕生させることが出来たのです。



使用イメージ(W900×H600mm)

- 商品名 「フレームレスライティングボード safro (サフロ)」
- 販売価格 【ホワイトボード】W600×H450mm 定価 11,000 円(消費税抜き)
W900×H600mm 定価 16,000 円(消費税抜き)
W1200×H900mm 定価 23,000 円(消費税抜き)
- 仕様 本体：スチール製・ホワイトボード塗装
側面にマーカー・イレーサーを収納できます。

お問い合わせ先 : さくら精機株式会社
〒581-0814 大阪府八尾市楠根町 2-61 TEL 072-999-1721
担当 椿原 Email k-tubakihara@sakura-seiki.co.jp 携帯 090-3169-0628
製品 HP <http://fwb-safro.com> 会社 HP <http://www.sakura-seiki.co.jp/>

●使用例



左モスグリーン 中テラコッタレッド 右ブラック



ホワイト連結 使用例

商品の展開としてホワイト以外にもカラーボードもございます。

●販売価格	ブラック	定価 19,200 円 (税別)
	テラコッタレッド	定価 19,200 円 (税別)
	モスグリーン	定価 19,200 円 (税別)

- 仕様 サイズ : W900×H600mm
- 本体 : スチール製・ブラックボード塗装
- 側面にマーカーを収納できます。

◇ プロダクトデザイナー : 村田 智明 Chiaki Murata

京都造形芸術大学 客員教授・神戸芸術工科大学 客員教授・九州大学 非常勤講師
株式会社ハーズ実験デザイン研究所 / METAPHYS 代表取締役

1959年鳥取県境港市生まれ。1982年に大阪市立大学工学部応用物理学科卒業後、三洋電機株式会社デザインセンター入社。86年に同社を設立、プロダクトを中心に広範囲なデザイン活動を行い、Gマーク金賞をはじめ、DFAグランプリ、RED DOT BEST OF BEST、ジャーマンデザインアワード WINNER 賞、iF DESIGN AWARD GOLD、ソーシャルプロダクツアワード大賞、TOPAWARDS ASIA GRAND AWARD2017など、国内外で150点以上を受賞。またオムロンの血圧計「スポットアーム」(04年)やマイクロソフト「Xbox 360」(05年)などを手がけ、世界記録的な販売数量を達成する。自ら立ち上げたブランド共有型コンソーシアムブランド METAPHYS は、自著「行為のデザイン思考法」で企画・デザインされた商品を、多くの企業と開発から販売までを実践している。また東京都美術館新伝統工芸プロデュース事業(TC&D)や越前ブランドプロダクツコンソーシアム(iiza)、鳥取プロダクツコンソーシアム(TOTT)など、地域振興施策としてデザインを活用したプロデュース業務にも数多く携わる傍ら、eco products design competition 2007~2010、social design conference 2011~2015の開催を通じて「ソーシャルデザイン」という言葉を生み出し、社会性を持ったデザインの啓蒙に尽力している。著書に『ソーシャルデザインの教科書』(生産性出版)、『問題解決に効く行為のデザイン思考法』(CCCメディアハウス)がある。



◇ 村田氏とのコラボの経緯：

大阪府八尾市の STADI「八尾市製品・サービス開発型クリエイティブ産業創出事業」に参画したことがコラボのきっかけとなりました。

当事業では日本を代表するプロダクトデザイナーがプロデューサーとなり、販路開拓を見据えた製品・サービス開発をサポートする事業となります。

◇ 村田氏からの今回の商品コンセプトについて：

今までのホワイトボードはオフィスを中心に使用されておりデザイン性の高い空間には馴染むことのできない製品でした。本製品はオフィスだけでなくカフェやホテルなどにも馴染む、インテリア性の高いボードを目指しました。デザイン性が重視されるカフェなどでは黒板が使用されることが多いですが、衛生面の重要な空間にチョークは不適切とも考えられます。近年多く見られるブラックボードなどの商品もありますが、水性ペンを使用するために板面は光沢で安っぽく見えてしまいます。本製品ではマットな質感で水性ペンの除去を行えるよう、様々な塗料を使用した実験を行い高級感のあるマットな質感を保ったボードを実現しています。オフィス以外の使用も踏まえ、新たにブラック・モスグリーン・テラコッタレッドの色を選定し、インテリア性の高い空間に馴染むよう考慮しています。



リビングでの使用例（テラコッタレッド）

◇ 会社概要：

当社が創業を開始したのは戦後間もない 1948 年。「日本の教育に必要な製品をつくる」という重責を感じ、学校用理科実験機器の製造を決意したのがスタート地点でした。しかし、実験機械を数台ずつつくるには会社の技術力の深さと設備の幅がないとよいものをつくれません。常に思考を巡らせながら、安心安全で教育効果の高い製品づくりに取り組み、日本の復興に大きな役割を担ってきました。



弊社製品の理科実験機器 オフィス家具

当社はいつも新しい何かを考える頭脳の宝庫です。実は今ではホワイトボードの枠がアルミになっているのが当たり前ですが、昔は木製が主流でした。



代表取締役社長
村本一平

約 50 年前に窓枠にアルミサッシが使われていたのをヒントに、ホワイトボードにもアルミ枠を取り入れたのは当社が初めてのことです。

安全性や耐久性を追求した結果、当時の新たなトレンドを誕生させたのです。

しかし時代は変わり技術も進歩し当社で編み出したものでも自分たちで潰し新たなトレンドを生み出すことも我々さくら精機の役割で

あると考えます。創業以来蓄積された「少量多品種生産のノウハウ」。小さなマーケットにも特長ある製品、必要とされる製品づくりを目指しながら、業種にとらわれることなく、様々なものづくりにチャレンジしています。

今では物理・生物・化学・地理と様々な種類の理科実験機器をはじめ、学校用教材、オフィス家具、製本機械など、幅広い業種において技術とアイデアの詰まった製品を製造しています。これらはすべて企画・開発・設計・製造のほとんどを社内で行っており、そのための設備も板金、切削、塗装、組立と一貫体制の環境を構築。今日においては幅広い技術と知識の結集により、フレキシブルな生産体制を実現しております。

